

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第6回 若松小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和 7年 2月 21日(金) 16:00 ~ 17:00

2 場 所 会議室

3 あいさつ(委員長, 学校長)

(委員長)

・今年度最後となります。よろしくお願いします。

(学校長)

- ・1年間ありがとうございました。3月19日6年生54名が卒業します。卒業式へのご参加よろしくお願いします。

4 協議内容

(1) 学校関係者評価について

市の大きな4つの柱立てを中心に学校としての取組を改善点に記載。

学力は基礎基本をじっくりと取り組む。

算数に課題があったので、校内の研修を算数にかえることを検討中。

複線型の授業について・・・次年度進めていきたい。職員研修もしていく。来年度も授業を見ていただいて、ご意見をいただきたい。

読書量が少ない・・・本を読むことを大事にしていきたい。

長欠については保護者と連携していく。通級指導の活用等も。

非認知能力・・・日常的に教職員が笑顔で子どもたちには肯定的な声掛けをしていく。環境整備もしていく。地域連携は大変お世話になっております。

- ・「教えることは学ぶこと」子どもたちどうしでの教え合いを進めてほしい。

(2) 1年間のまとめ・次年度に向けて

- ・勉強に集中したほうがよいという意見もあったが、行事に参加することはとても大事だと思う。そのことで本業の学業が向上すれば、なおよい。先生方よろしくお願いします。
- ・学調の話も出たが、数字に振り回されるのではなく、子どものやる気を出させるような取組を。何らかの形でかかわっていきたい。
- ・学力は試験の結果だけと決めつけるのはどうか。子どもはきっかけと動機さえつければどんどん自分で進めていくことを実感している。何かをつかむと期待した結果を超える力を無限にもっていることを目の当たりにした。
- ・自分たちで読み聞かせをさせたことを通して、ほめる機会が増えた。子どものやる気を引き出すこともできた。保護者にも悪いことを伝えるのではなく、読み聞かせでは子どもの反応がよくわかり、よかった。

- ・家庭や保護者の価値観が多様で学校では先生が苦勞しているだろう。学校評価できちんと課題が分析されており改善点も具体的に示されている。子どもたちには中学校へ強くたくましく進んでもらいたい。また、授業参観で子どもの生の姿を見せてもらってよくわかった。児童の学習の成果を工夫して掲示されて子どもの興味を引き出す取組をされていると感じた。
- ・学校だよりで学校の取組がよくわかる。地域もひとつにしようとしている。心を養うことで学力につながっていくと思う。環境面でも協力していく。
- ・2年間参加して、先生の負担が大きいのので、減らしていくことを考えていきたい。
- ・学力が伸びていない、図書室の貸出冊数が少ないことは残念。子ども達には地域に誇りをもってもらいたい。若松には素晴らしい偉人がたくさんいるので、経緯と関連付けてやると興味をもって活字も読むのではないかな。地域と絡めていくとよいのでは。
- ・地域と学校が連携した学習の様子が新聞に掲載されて、家庭で喜んでもらっている。地域と学校が一体となって進めていくことが大事。そのように進んでいると思っている。ありがとうございました。

## 5 年間行事予定について

運動会と若松ふれあいフェスタの前は除草ができているとよいと思っている。

8月20日が登校日、校区で統一

- ・PTA クリーンスクールは8月23日（30日）と予定したが、10月4日と11日にシフトできないか。
- ・8月には絶対除草しないと草がひどく荒れる。
- ・PTA と地域で別々に取り組んでいく方向で検討。